

平成22年度 事業経過報告書

自 平成22年4月1日

至 平成23年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号
(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

平成22年度事業経過報告

I. ライセンス会員の登録状況

1. ライセンス会員数（期間：平成21年10月1日～平成22年9月30日）

- 1) 競技会員のライセンス取得者数は**17,277**名（昨年18,699名）で前年対比**92%**、ライセンス発行枚数も**25,663**枚（昨年27,774枚）で**92%**と減少。
- 2) エンジョイ会員は**3,811**名（平成22年1月～9月）昨年度は4,712名（平成21年1月～9月）で**81%**と大幅に減少した。

2. 各種目の会員数

① ロードレース **6,914**名（昨年**7,580**名）前年対比**91%**

地方選手権衰退で国内／フレッシュマンが大幅に減少、ジュニアのみ増。

種目	区分	09年度	10年度	対比
ロードレース	国際	867	842	97%
	国内	4297	3964	92%
	フレッシュマン	2337	2026	87%
	ジュニア	79	82	104%
	計	7580	6914	91%

② モトクロス **2,249**名（昨年**2,510**名）前年対比**90%**

年齢構成は若者がマジョリティを占めているが、総数は減少傾向

種目	区分	09年度	10年度	対比
モトクロス	国際A級	166	156	87%
	国際B級	487	464	95%
	国内A級	278	256	92%
	国内B級	828	714	86%
	ジュニア	610	565	93%
	PC	141	94	67%
	計	2510	2249	90%

③ トライアル **1,523**名（昨年1,572名）前年対比**97%**

堅調であるが高齢化も顕著。

種目	区分	09年度	10年度	対比
トライアル	国際A級	140	138	99%
	国際B級	378	373	99%
	国内A級	390	379	97%
	国内B級	651	624	96%
	ジュニア	13	9	69%
	計	1572	1523	97%

④ スノーモビル **255**名（前年245名）前年対比**104%**

種目	区分	09年度	10年度	対比
スノーモビル	A級	97	87	90%
	B級	119	143	120%
	ジュニア	29	25	86%
	計	245	255	104%

⑤ ドラッグレース (前年 56 名) 発行休止

種目	区分	09年度	10年度	対比
ドラッグレース	A級	27	発行せず	
	B級	29	"	
	計	56	"	

⑥ ダートトラック 51 名 (前年 56 名) 前年対比 91%

種目	09年度	10年度	対比
ダートトラック	56	51	91%

⑦ スーパーモタード 448 名 (前年 469 名) 前年対比 96%

コスト上昇、技量格差拡大等で減少傾向。

種目	区分	09年度	10年度	対比
スーパーモタード	A級	227	247	109%
	B級	242	201	83%
	計	469	448	96%

⑧ エンデューロ 133 名 (前年 105 名) 前年対比 127%

種目	区分	09年度	10年度	対比
エンデューロ	国際	17	52	306%
	国内	88	81	92%
	計	105	133	127%

⑨ ピットクルー 8,286 名 (前年 9,198 名) 前年対比 90%

種目	09年度	10年度	対比
ピットクルー	9,198	8,286	90%

⑩ 競技役員 5,804 名 (前年 5,983 名) 前年対比 97%

種目	09年度	10年度	対比
役員・講師	5983	5804	97%

Ⅱ. モーターサイクルスポーツ事業

1) MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

- 平成 22 年 1 月～12 月まで全国で 602 大会が開催された。

支部	公認競技会										承認競技会										合計	中止	開催数	
	R D	M X	T R	S N	S M	D R	E D	講習 会	走行 会	小計	R D	M B	MX	T R	S N	S M	D T	E D	S T	行事				小計
北海道	4	13	8	3			1	16		46	1		1	2			10		1	15	61	0	61	
東北	6	11	18		2		1	19	2	61	1	12	15	7			4			39	100	3	96	
関東	12	26	23	2	5		1	28	6	105	5	7	0	7	6		6	3		3	37	142	9	133
中部	9	10	13		1			18	6	58	6	6	4	7			6			29	87	0	87	
近畿		10	12		7			14	1	46		2	0	1			7			11	57	2	55	
中国	7	10	20		6			24	1	68	4	13	3	2			6			28	97	4	92	
四国		8	8		1			4	0	21										0	21	1	20	
九州	6	9	17		9		1	21	0	64	2			1			1			4	68	2	66	
合計	44	97	119	5	31		4	144	16	460	19	40	23	25	8		6	37		5	163	632	21	602
前年	44	97	113	6	40		3	149	37	489	24	36	27	26	3		8	30		2	156	645	39	606

3) 競技会開催状況

(1) ロードレース

① 世界選手権/特別競技会

格式	開催日	大会名	観客数	
			09 年	10 年
世界選手権	7 月 22 日～25 日	ココラ・ゼロ 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース	103,500	107,000
	10 月 1 日～3 日	Moto-GP 日本グランプリ	65,332	64,843
国際競技会	6 月 12 日～13 日	Road to 8hours 鈴鹿 300km	23,000	21,000
特別競技会	8 月 21 日～22 日	もてぎオープン 7 時間耐久ロードレース	3,300	

② 全日本選手権

- ・オートホリス大会決勝が豪雨にて中止。ST600 が微増したが他クラスは減少
- ・文部科学大臣杯は秋吉耕祐選手(JSB1000 チャンピオン)が獲得した。

	開催日	会場	観客数	JSB	GP2	ST600	GP3	GP-M	計
第 1 戦	4 月 4 日	筑波	18,800	24	4	47	36	22	133
第 2 戦	4 月 18 日	鈴鹿 2&4	51,500	41	8				49
第 3 戦	5 月 23 日	オートホリス	中止	26	8	51	26	26	137
第 4 戦	8 月 29 日	SUGO	12,850	23	8	67	31	26	138
第 5 戦	9 月 26 日	岡山国際	10,000	31		53	29	23	136
第 6 戦	10 月 17 日	もてぎ	17,000	28	10	44	35	25	142
第 7 戦	10 月 31 日	MFJ-GP 鈴鹿	18,000	31	10	29	28	28	126
		合計	128,150	204	48	291	185	150	861
		1 大会平均	21,358	29	8	49	31	25	135
		前年対比	91%	91%		104%	83%	84%	87%

③ チャレンジカップ選手権

◎東日本チャレンジ(SUGO・筑波・もてぎ)

大会数	総参加台数	GP3	ST600	JSB1000	
5	200	39	92	69	
1大会平均	46	8	18	14	
前年対比	88%	70%	125%	92%	

◎ウエストチャレンジ(鈴鹿・岡山)

大会数	総参加台数	GP3	ST600	JSB1000	
9	248	114	88	46	
1大会平均	28	13	18	12	
前年対比	79%	72%	86%	56%	

◎サウスチャレンジ(オートポリス・HSR九州)

大会数	総参加台数	GP3	ST600	JSB1000	
5	109	12	61	36	
1大会平均	22	2	12	9	
前年対比	67%	40%	76%	66%	

④ 地方選手権・承認競技会

◎ロードレース地方選手権・承認競技会

施設	公認競技会 ※1		承認競技会	
	大会数	参加台数	大会数	参加台数
十勝	4	36	4	153
SUGO	5	110	5	221
筑波	4	214	5	983
もてぎ	4	145		
鈴鹿	6	265	5	663
岡山	6	168	11	909
九州	5	105	3	116
合計	34	1043	33	3045
1大会平均		31	1大会平均	92

※1 公認競技会開催日の承認クラス参加数除く

◎承認ミニバイクレース

支部	承認ミニバイク	
	大会数	参加人数
北海道	0	0
東北	16	759
関東	13	2072
中部	5	281
近畿	0	0
中国	10	493
四国	0	0
九州	0	0
合計	44	3605
1大会平均		82

(2) モトクロス

① 全日本選手権 ※第5戦九州大会は口蹄疫の影響で中止

場所	観客数	台数	国際B級		国際A級		レディース	チャイルド*	J85	他
			IB2	Open	IA-1	IA-2				
近畿	14575	326	75	71	28	49	48	18	37	--
関東	16200	362	65	64	27	46	45	16		99
中国	11000	305	72	72	24	47	45	15		30
東北(SUGO)	8200	246	65	59	24	47	44	7		--
九州	中止									
北海道	8700	291	35	30	21	35	20	16	13	121
東北(藤沢)	7500	237	60	57	25	44	44	7	--	--
近畿	10445	297	68	67	21	45	46	14	36	
弘楽園	9520	274	68	68	23	44	40	31	--	--
SUGOGP	7100	333	81	81	25	47	45	20	34	--
合計	93240	2671	589	569	218	404	377	144	120	250
平均	9324	267	65	63	24	45	42	16	30	63
対比	80%	92%	79%	87%	91%	90%	89%	63%	98%	

モトクロス全国大会:8月1日 東北地区のスポーツランド SUGOにて開催し、182名/253台が参加した。

② 地方競技会

	大会数	総参加台数	平均台数	前年比
地方選手権	68(67)	9898(10663)	146(159)	92%
県大会	22(27)	642(680)	28(25)	112%
Total	90(94)	10540(11343)	184	98%

(3) トライアル

① 世界選手権

格式	開催日	大会名	観客数	
			09年	10年
世界選手権	6/5-6	トライアル世界選手権日本GP	14,000	12,000

② 全日本選手権

	開催日	場所	観客数	台数	IB	IA	IA-S	他
第1戦	3月14日	関東	2,750	126	68	45	12	1
第2戦	4月11日	九州	1,800	84	42	30	12	
第3戦	5月23日	近畿	1,930	134	80	40	13	1
第4戦	8月1日	北海道	350	56	27	18	11	
第5戦	9月5日	中国	2,000	137	74	38	12	13
第6戦	10月17日	中部	2,750	125	66	46	12	1
第7戦	10月31日	東北	600	95	50	33	11	1
		合計	11,980	570	325	174	66	17
		1大会平均	1,711	108	58	36	12	3
		前年対比	86%	111%	104%	124%	109%	

③ 地方選手権

	大会数	総参加台数	平均参加台数	前年比
地方選手権	73(64)	4445(4088)	61(65)	94%
県大会	33(40)	990(1215)	29(31)	94%
Total	106(104)	5435(5303)	51(52)	98%

※地方選手権大会数は沖縄選手権が加わった為増加

(4) スノーモビル

年度	開催地	開催日	観客数	台数	B	SC	A	J	他
第1戦	苗場	1月31日	3,000	143	68	19	38	14	4
第2戦	長野	2月7日	1,800	125	57	20	36	12	
第3戦	わっさむ	2月14日	600	139	61	20	50	8	0
第4戦	士別	2月21日	250	130	58	19	44	9	0
第5戦	美瑛	2月28日	500	142	60	22	51	9	0
年間合計(5戦)			6,150	665	304	100	219	52	4
1大会平均(5戦)			1,230	133	60	20	44	10	--
前年対比			74%	92%	95%	105%	88%	83%	

(5) スーパーモタード

① MOT01 オールスターズ

	開催日	場所	台数	moto 1P	moto 1op	moto 2	併催
第1戦	4月11日	中部	92	13	28	21	30
第2戦	5月9日	近畿	65	14	22	19	10
第3戦	6月6日	関東	61	14	25	22	
第4戦	6月27日	東北	70	15	13	13	29
第5戦	8月1日	中国	57	12	23	22	
第6戦	8月22日	東北	78	15	16	16	31
第7戦	9月19日	九州	71	16	20	19	8
第8戦	10月25日	関東	90	15	20	16	39
		合計	584	114	167	148	155
		平均	73	13	21	21	19
		対比	113%	110%	99%	90%	

②MOT01 エア（地方選手権）を下記7エアで開催。

エリア	大会数	総台数	平均
関東・東北エリア	6	386	64
中部・近畿エリア	7	249	36
中国・四国エリア	6	234	39
九州エリア	3	112	37
沖縄エリア	6	234	39
合計	28	1215	43
		113%	126%

(6) エンデューロ

	開催日	場所	合計台数	全日本	その他
第1戦	3/20-21	SUGO <東北>	151	56	95
第2戦	5/15-16	御所 <九州>	65	40	25
第3戦	10/2-3	日高町<北海道>	95	43	52
合計			311	139	172
1大会平均			104	46	57
前年対比			95%	131%	76%

4) 代表選手派遣事業

(1)モトクロス・オブ・ネーションズ` (国別対抗世界選手権)

モトクロス委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行った。

- ・ 開催日：9月25日～26日 開催国：アメリカ (デンバー)
- ・ 代表チーム (MX1 成田亮、MX2 三原拓也、MXOpen 熱田孝高) 順位：19位

(2)トライアル・デ・ナシオン (国別対抗世界選手権)

トライアル委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行った。

- ・ 開催日：9月11日～12日 開催国ポーランド
- ・ 代表チーム (藤波貴久、小川毅士、斉藤晶夫、野本佳章) 順位5位

(3)アジア・ネーションズ`オブ・ロードレーシング` (アジア国別対抗戦)

若手とベテランの2名を派遣し、年間ランキング1位となった。

	開催日	開催国	参加国	順位	代表選手	
第1戦	8月22日	インド	8	2	北見 剣	上江洲克次
第2戦	8月29日	日本	8	2	北見 剣	中木亮介
第3戦	10月10日	台湾	6	2	北見 剣	上江洲克次
第4戦	12月19日	タイ	7(予定)		北見 剣	坂田和人

(4) ISDE (国際6日間エンデューロ)

エンデューロ委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行った。

- ・ 開催日11月1日～6日 開催場所：メキシコ
- ・ 代表チーム (池田智泰、内山裕太郎、吉川和宏、近藤有介、太田真成、大川原潤) 順位12位

5) 全日本選手権ランキング表彰式典

全日本ランキング表彰式典を平成22年12月26日(日)に東京・大手町の日経ホールにて開催。

III. 補助金事業

1) (財) JKA「体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金」

- ①平成23年度国内競技規則書 交付申請額：5,460,000円
交付額：5,460,000円
- ②平成22年度MFJレディースロードレース 交付申請額：2,572,000円
交付額：1,943,000円

2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

- ・平成22年度ドーピングコントロール 交付申請額：2,231,000円
交付額：1,533,000円

IV. モーターサイクルスポーツの普及振興

1) 普及強化事業

① MFJロードレースアカデミー in Motegi

5期目を迎えた標記アカデミーを下記のように開催した。

- ・主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・会場：栃木県・ツインリンクもてぎ 対象：12歳～15歳 受講者：9名(昨年5名)
期間：2010年4月～10月 車両：CBR150 NSR-mini 受講料：30万円

② MFJトライアルアカデミー

4期目を迎える標記アカデミーを下記のように開催した。参加枠を拡大し若干増加した。

- ・主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・会場：茨城県・真壁トライアルランド
- ・対象：ジュニア(9歳～18歳)・女性 ・ファミリー参加(付き添いの方)
- ・受講者：15名(昨年8名) 内訳 ジュニア4名・女性9名 ファミリー(男性)2名
- ・期間：2009年4月～11月 車両：持ち込み 受講料：11万円

③ MFJレディースロードレース

アカデミー用のCBR150をレンタルし、レースを3回、講習会/練習会を3回開催し普及に努めた。

自己車両での参加が増加し、10月大会ではフルグリッドを達成した。※JKA補助金事業

- ・主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・第1回：3月14日(日)筑波サーキット 出場22名
- ・第2回：6月5日(土)筑波サーキット 出場25名
- ・第3回：10月2日(土)筑波サーキット出場 32台

④ アジア国別対抗ロードレース

昨年に引き続き SUGO にて開催した。

開催月日：2010年8月28日（土）29日（日）

開催場所：スポーツランド SUGO クラス：CBR150ワンメイク

主催：（財）日本モーターサイクルスポーツ協会 協力：スポーツランド SUGO

参加国：タイ・インドネシア・フィリピン・台湾・日本・香港・インド・マレーシア（8カ国）15名

⑤ モトクロスライディングスクール

モトクロス選手会と協力し、現役国際A級ライダーの講習によるスクールを開催した。

7月31日（土）場所：宮城県スポーツランド SUGO 対象：モトクロス全国大会参加者

インストラクター：鈴木友也、熱田孝高、成田亮、小島庸平、沼田誠司、勝谷武史

2) 安全・環境・健康に関する活動

① レスキュー講習会

競技役員のレスキュー技術の向上を目的とし、モーターサイクルライフェービング機構（LSO）のセミナーを以下のように実施し、12月現在まで合計28名が資格を得た。

10年9月5日	四国	18名
10年9月23日	北海道	10名
11年2月19日	中国	10名
11年3月12・13日	東北	震災により中止

② インストラクター養成セミナー

ライダー養成にあたる人材育成を目的に、レース専門分野ならびに、大学の講師によるスポーツコーチング、熱中症予防等に関する講義を行い資格認定した。

・7月10日 東京・日本印刷会館研修室 受講者40名（昨年49名）

③ ドーピングコントロール

ドーピングコントロールを下記のように実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	10月17日	TRM	MFJ事業	4
モトクロス	全日本	10月24日	SUGO	MFJ事業	4
トライアル	全日本	10月31日	SUGO	MFJ事業	4

④ サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時に主に安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

⑤安全装備の研究

- ・環境整備委員会・競技用装備部会にて装着を義務付ける脊椎プロテクション・胸部プロテクションの製品基準を策定する為、車両検査協会にて製品検査を実施。
- ・脊柱プロテクション・胸部プロテクションに加えてエアバック式プロテクションを装着することにより事故時のダメージ軽減を目指す方向で検討。

3) 広報活動

- ①MFJの広報機関誌である月刊「ライディング」及び別冊MFJ国内競技規則書を年間累計**94,000冊**(昨年183,250冊)発行。機関誌とホームページの情報内容の仕分けを行い、速報性に限界のある機関誌は今年度より**年間4回**発行とした。ライセンス会員、特別会員、賛助会員、ネットワークショップ及び報道機関などに広く配布し、MFJ活動の広報に努めた。
- ②MFJ オフィシャルホームページは5種目の全日本選手権の結果速報・レポート・写真を掲載し内容充実と速報性の向上を図るとともに、機関誌発行回数減に対応し新たに競技会カレンダーを掲載することになった。本年4月1日より11月末日まで**670,390件/月平均83,799件**(昨年684,814件/月平均85,600件)のアクセスを得た。
- ③主にネットワークショップに向けてのイベント情報をFAX通信にて毎月1回(15日発行)配信した。年間**12回**配信
- ④ライセンス会員募集のために二輪専門雑誌の広告掲載(**7媒体・25回**予定)並びに募集パンフレットを作成し、配布した。
- ⑤ネットワークショップを中心に掲出するポスターカレンダー(加盟団体ごとの地域イベントを中心とした内容)を作成し、広く配布予定。
- ⑥プロモーション委員会において、全日本ロードレース選手権を中心にシリーズ告知等広報宣伝活動を展開した。
 - ・CS放送スポーツ専門チャンネルGaoraにて番組名『モトバトル』で全日本ロードレース並びにモトクロスを全戦放映した。
 - ・BS放送BS11の『モトライブ』に協力し、レースの告知、露出を促進した。
 - ・専用ホームページSuperbike.jpをリニューアルするとともにメルマガ機能を追加し、一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信・アンケート調査等を行った。※1月～11月の訪問者数**2,104,514件**(昨年1,435,467件)

V. 地方組織

1. 加盟団体会長・事務局長会議

加盟団体との情報共有の為、会長/事務局長会議を定期的に開催した。

2. ネットワークショップ

ネットワークショップ加盟推進活動を行ったが、**216** 店舗（昨年 247 店）と減少。

3. 加盟団体ごとの活動状況は以下の通り

支部	会員数					競技会			全日本選手権						Nショップ	HP	表彰式
	ライセンス	ライセンス	エンジョイ	合計		公認	承認	計	RD	MX	TR	SN	SM	ED			
	枚数	人数		枚数	人数												
北海道支部	1547	941	249	1796	1190	45	15	60	0	1	1	3	0	1	10	○	最終戦時
東北支部	2314	1446	547	2861	1993	59	39	98	1	3	1	0	2	1	18	○	最終戦時
関東支部	9660	6377	2013	11673	8390	103	37	140	2	1	1	2	2	0	72	○	○
中部支部	4029	2797	552	4581	3349	57	29	86	2	0	1	0	1	0	36	○	○
近畿支部	4019	2787	640	4659	3527	44	11	55	0	2	1	0	1	0	41	○	○
中国支部	1508	1105	504	2012	1609	68	28	96	1	2	1	0	1	0	11	○	○
四国支部	657	476	66	723	542	21	0	21	0	0	0	0	0	0	8	○	最終戦時
九州支部	1929	1348	167	2096	1515	63	4	67	1	1	1	0	1	1	20	○	○
	25663	17277	4738	30401	22015	460	163	623	7	10	7	5	8	3	216		

VI. 国際交流

世界における MFJ の役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ 並びにアジア地域における人材育成を通じて、モーターサイクルスポーツの活性化を推進した。

- 1) 4月 FIM車検長セミナーを鈴鹿サーキットにて開催し、また、新たな音量計測法である 2m MAX のデモンストレーションを実施した。
- 2) 4月 FIMロードレースセミナーを東京にて開催した。
- 3) 4月 アジア RD 選手権開催のためプロモーターとの会合に事務局員を派遣。
- 4) 8月 アジア国別対抗ロードレース第 1 戦インド大会に日本チームを派遣。
- 5) 8月 アジア国別対抗ロードレースをｽｰﾌﾟｰﾗﾝﾄﾞ SUGO の全日本選手権併催で開催
- 6) 9月 FIMエンデューロセミナーを札幌で開催した。
- 7) 10月 アジア国別対抗ロードレース第 3 戦台湾大会に代表チームを派遣した。
- 8) 10月 第 125 回 FIM マカオ総会に会長及び事務局員を派遣した。
- 9) 10月 アジア RD 選手権第 5 戦中国大会に事務局員を派遣し、競技規則統一に向けた会合に出席。
- 10) 11月 シンガポールに新たに建設されるチャンギサーキット予定地の視察並びに全日本選手権誘致のための会合にプロモーション委員長並びに事務局員を派遣した。
- 11) 12月 マレーシア・ペナン島における公道レース Cub Prix 視察並びに競技規則会議の

ために事務局員を派遣した。

- 1 2) 12 月 アジア国別対抗ロードレース最終戦に日本代表チーム及び事務局員を派遣した。
- 1 3) 2011 年 1 月 サウジアラビアにて開催される F I M アジア総会に会長及び事務局員を派遣した。
- 1 4) 2011 年 1 月 ジュネーブで開催される T R 世界選手権オーガナイザー会議に事務局員を派遣した。
- 1 5) 2011 年 2 月 ジュネーブで開催の F I M 会議にロードレース委員並びに事務局員を派遣した。

VII. スポーツ傷害基金報告

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

種目	掛金口数	支払い件数	死亡	後遺症
ロードレース	6845	63	0	4
ミニロード	1205	3	0	1
ミニバイク	5299	21	0	0
スーパーモタード	961	12	0	0
スーパーモタード小排気量	243	1	0	0
モトクロス	5358	80	0	4
ミニモトクロス	4051	30	0	0
トライアル	8119	21	0	0
エンデュロ	3943	29	0	0
ダートトラック	149	1	0	0
スノーモビル	494	3	0	0
RDスクール・走行会	254	4	0	0
走行会	198	0	0	0
海外共済会	48	0	0	0
ピットクルー	1434	0	0	0
事前準備	17	0	0	0
体験走行・試乗会	15	0	0	0
	38633	268	0	9

Ⅷ. 諸会議の開催 (4月～12月)

委員会	2010年									2011年			回数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
理事会			17						16				2
評議員会			17						16				2
運営・財務委員会			10						9			10	3
加盟団体会長・事務局長								18					1
スポーツ傷害基金		25						10					2
中央審査委員会													0
規律裁定委員会													0
環境整備委員会													0
中央スポーツ委員会				20					1				2
プロモーション委員会				1		15	26	22	2(作)		3		6
技術委員会			18	28				12		25		8	5
ロードレース委員会				6(作)		2(作)	14(作)	11					4
モトクロス委員会				16				9					2
トライアル委員会								16			22		2
スノーモビル委員会			22										1
ドラッグレース委員会													0
スーパーモータード部会							28						1
エンデュロ部会				15				19					2
タイヤ部会								17					1
競技用装備部会			4(作)								1		2
回数	0	1	6	6	0	2	3	9	5	1	3	2	38

以上